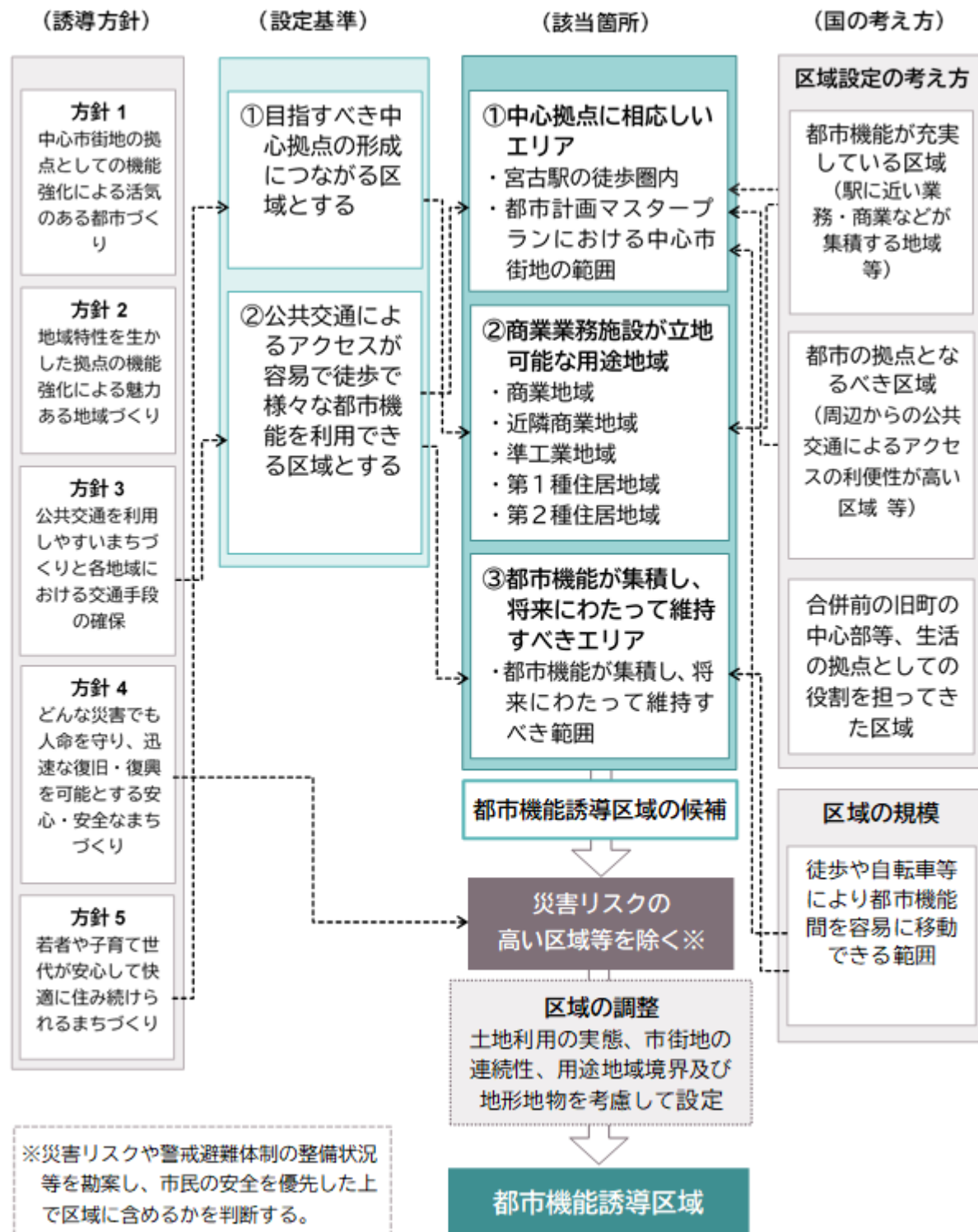


重点的に取り組んでいく区域について (1/22) ①都市機能誘導区域

■ 都市機能誘導区域の設定基準

- 「都市機能誘導区域」は、原則として居住誘導区域内に設定し、医療・福祉・商業といった都市機能を中心拠点や生活拠点に誘導し、集約することで、各種サービスの効率的な提供を図る区域であり、都市再生特別措置法や都市計画運用指針に示されている考え方にに基づき設定します。
- 目指す都市の骨格構造を実現するために、中心拠点に都市機能誘導区域を設定し、都市機能の誘導により拠点機能の強化を図ります。

＜都市機能誘導区域の設定基準＞



○以下のSTEPで、都市機能誘導区域の該当箇所を抽出します。

＜都市機能誘導区域の設定基準（該当箇所）＞

①中心拠点に相応しいエリア (STEP1)

- ・宮古駅の徒歩圏内 (半径 800m)
- ・都市計画マスタープランにおける中心市街地の範囲

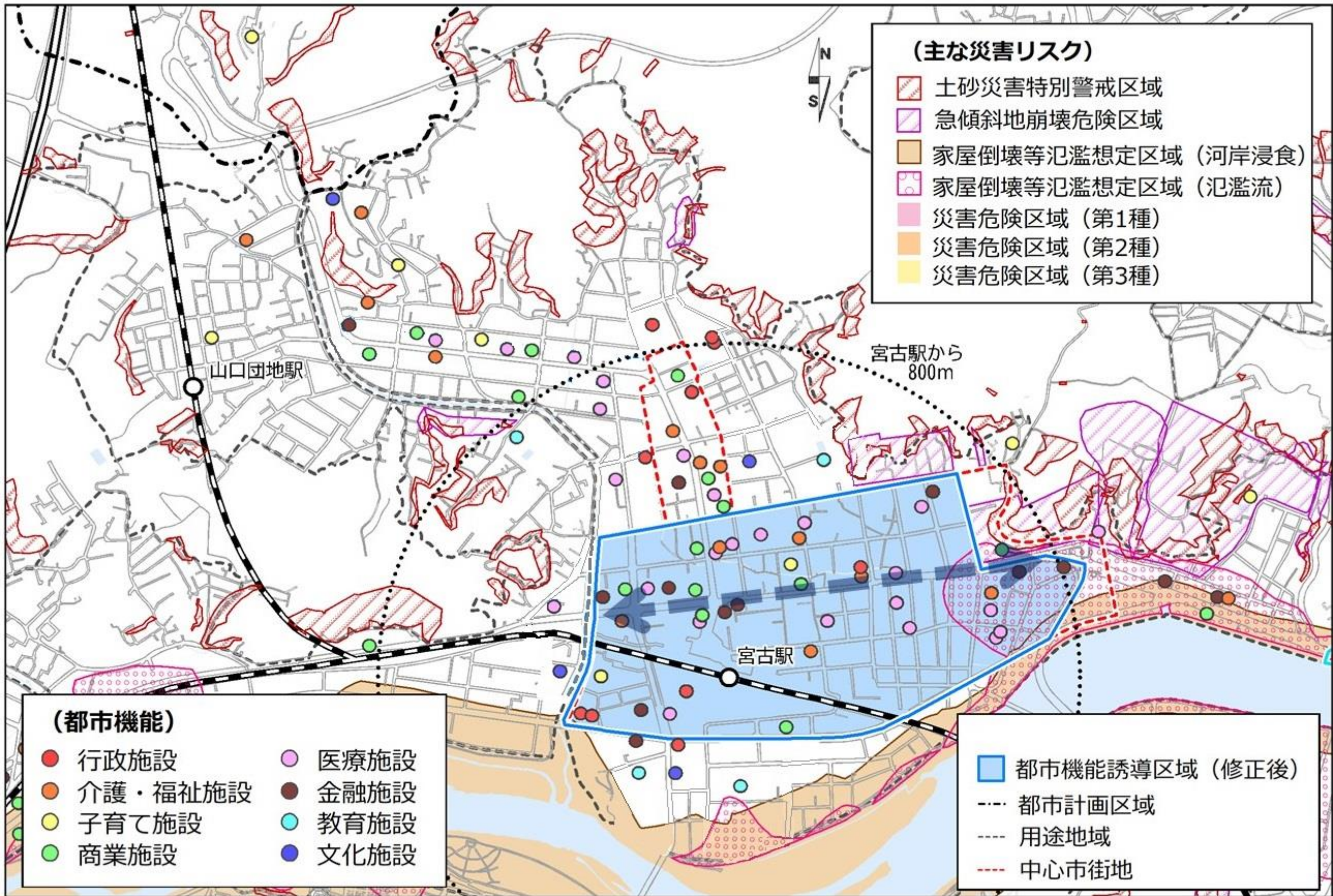
②商業業務施設が立地可能な用途地域 (STEP2)

- ・商業地域 ・近隣商業地域 ・準工業地域
- ・第1種住居地域 ・第2種住居地域

③都市機能の集積するエリア (STEP3)

- ・都市機能が集積している範囲

重点的に取り組んでいく区域について (2/22) ①都市機能誘導区域

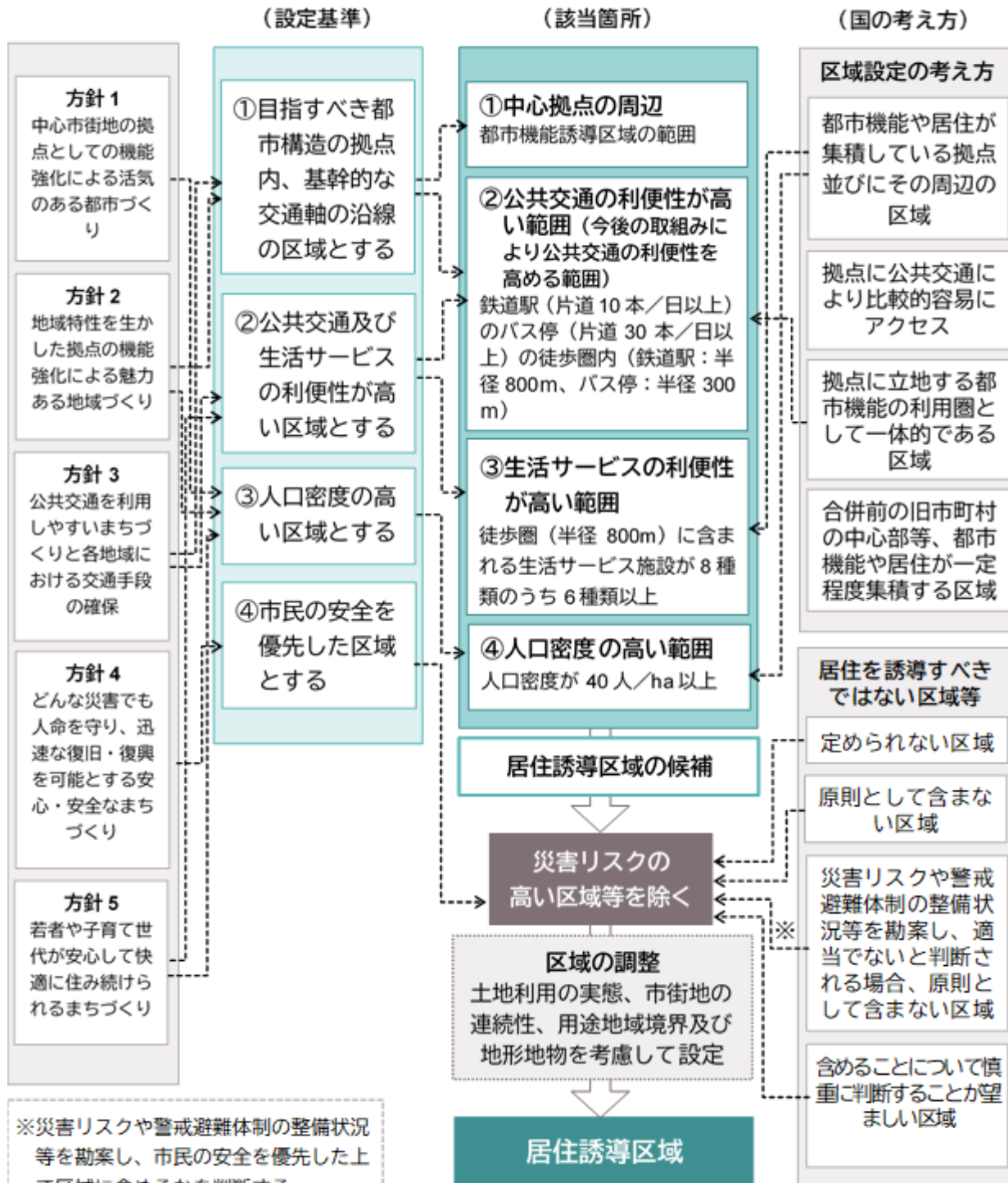


重点的に取り組んでいく区域について (3/22) ②居住誘導区域

■ 居住誘導区域の設定基準

- 人口減少が進行する中であっても一定エリアにおいて人口密度を維持することにより、生活利便性やコミュニティが持続的に確保されるよう、居住を誘導すべき区域である「居住誘導区域」は、目指すべき都市構造を実現するための誘導方針を踏まえつつ、都市再生特別措置法や都市計画運用指針に示されている考え方にに基づき設定します。
- 本市では、中心拠点周辺の利便性の高いエリアに居住誘導区域を設定し、緩やかな居住の誘導を図り住環境の維持・増進を促進することとします。

<居住誘導区域の設定基準>

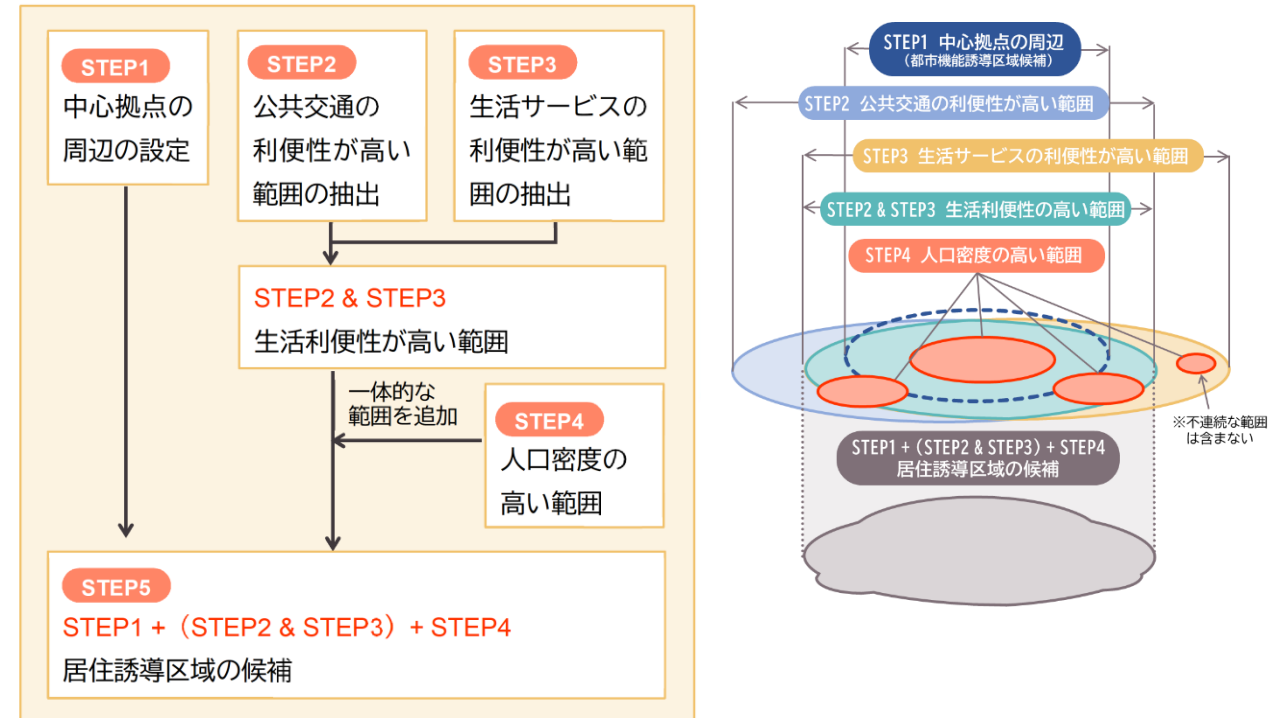


○以下のSTEPで、居住誘導区域の該当箇所を抽出します。

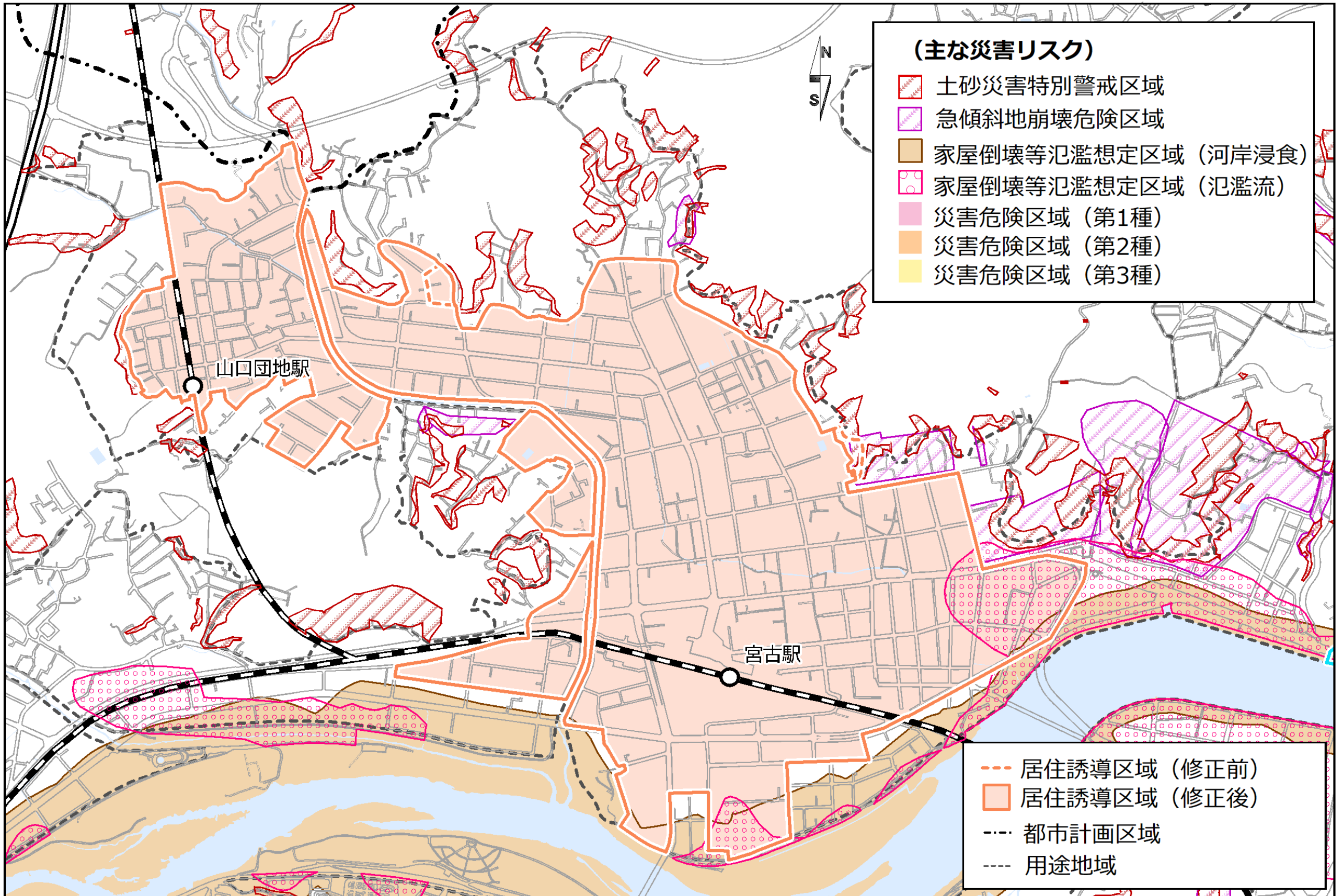
<設定基準 (該当箇所)>

- ①中心拠点の周辺 (STEP1)**
都市機能誘導区域の範囲
- ②公共交通の利便性が高い範囲 (今後の取り組みにより公共交通の利便性を高める範囲) (STEP2)**
鉄道駅 (片道 10 本/日以上) のバス停 (片道 30 本/日以上) の徒歩圏内 (鉄道駅: 半径 800m、バス停: 半径 300m)
- ③生活サービスの利便性が高い範囲 (STEP3)**
徒歩圏 (半径 800m) に含まれる生活サービス施設が 8 種類のうち 6 種類以上
- ④人口密度の高い範囲 (STEP4)**
人口密度が 40 人/ha 以上

<居住誘導区域の設定イメージ>



重点的に取り組んでいく区域について (4/22) ②居住誘導区域



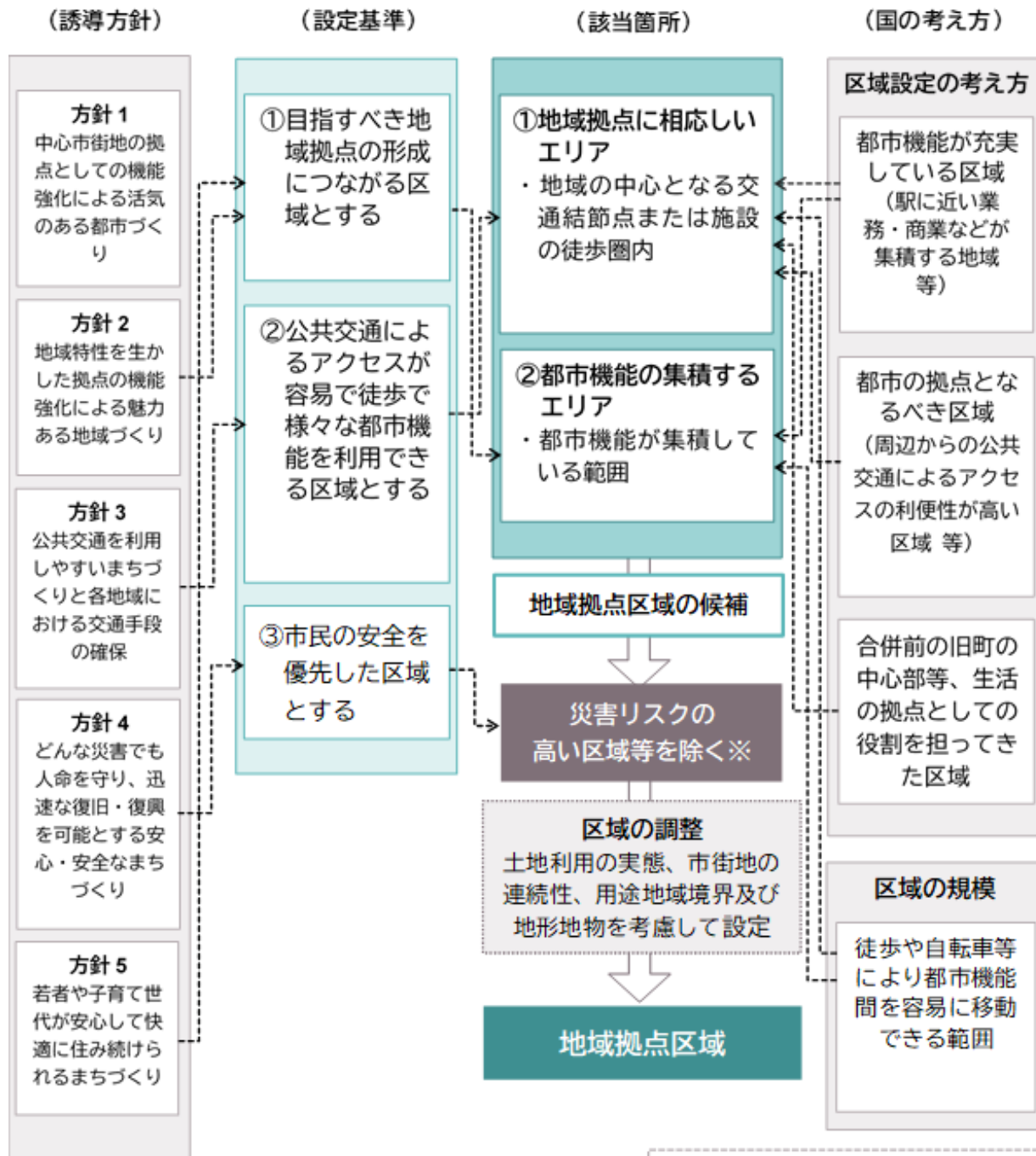
⇒土地利用の実態にあわせて調整

重点的に取り組んでいく区域について (5/22) ③地域拠点区域

■ 地域拠点区域の設定基準(市独自区域設定)

- 「地域拠点区域」は、地域の拠点となる区域に生活に必要な生活サービスを維持・誘導するエリアとして市が独自に設定するものです。
- エリアの設定は、都市再生特別措置法や都市計画運用指針に示されている都市機能誘導区域の考え方に参考に地域の特性を踏まえつつ設定するものとします。

<地域拠点区域の設定基準>



※災害リスクや警戒避難体制の整備状況等を勘案し、市民の安全を優先した上で区域に含めるかを判断する。

○以下の設定基準で、地域拠点区域の該当箇所を抽出します。

<設定基準(該当箇所)>

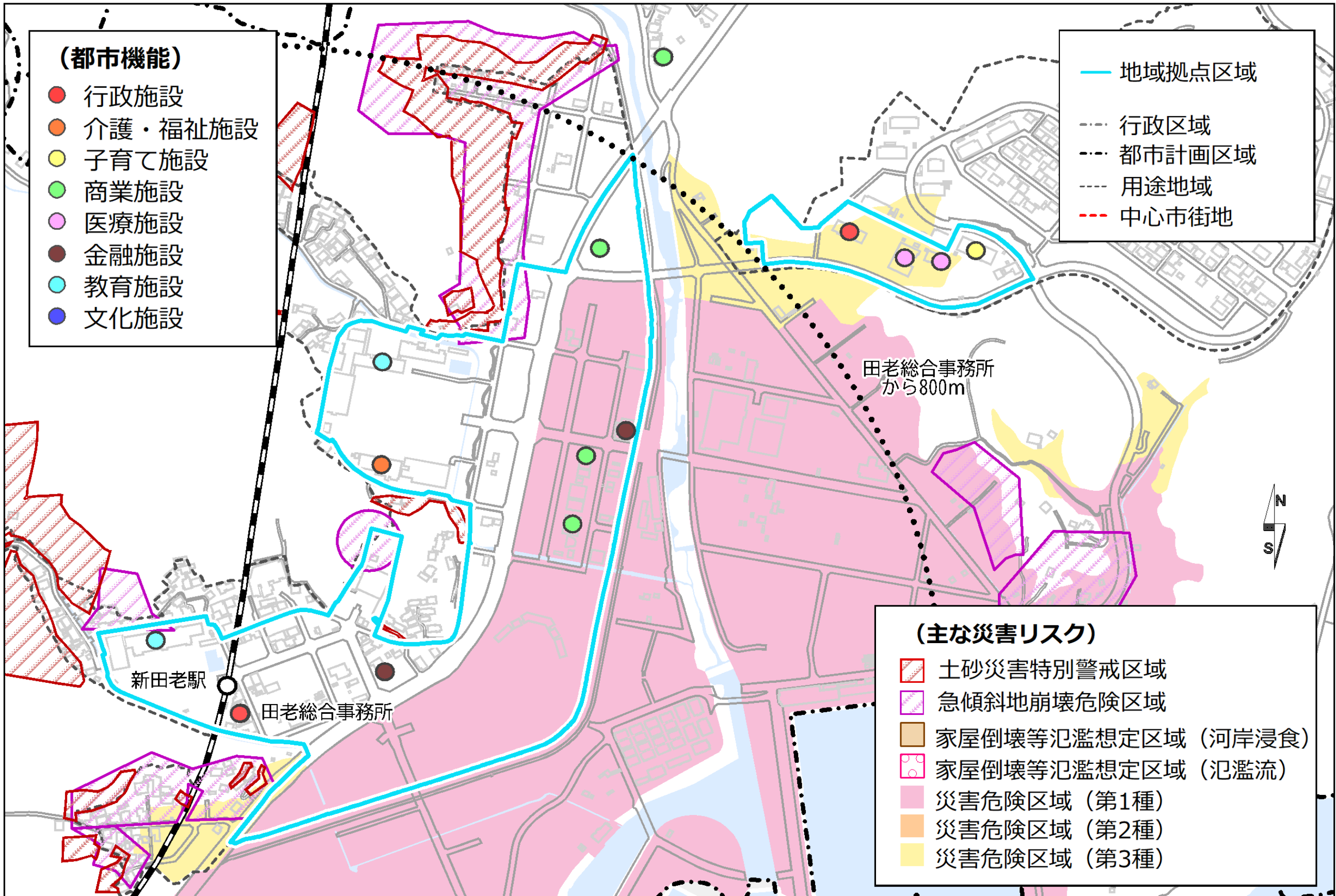
①地域拠点に相応しいエリア (STEP1)

- ・地域の中心となる交通結節点または施設の徒歩圏内 (施設・鉄道：800m、バス停：300m)

②都市機能の集積するエリア (STEP2)

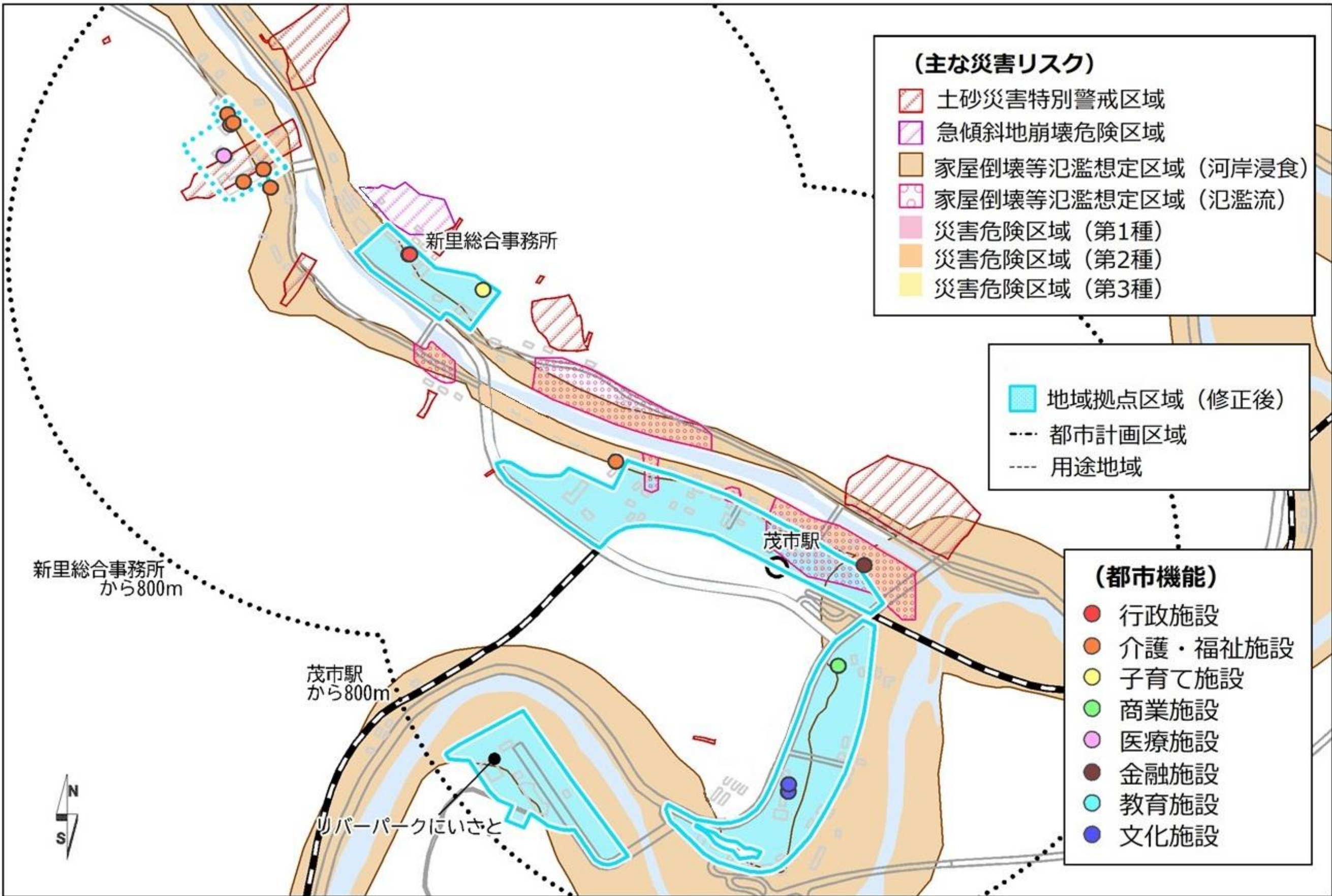
- ・都市機能が集積している範囲

重点的に取り組んでいく区域について (6/22) ③地域拠点区域 [田老地区]

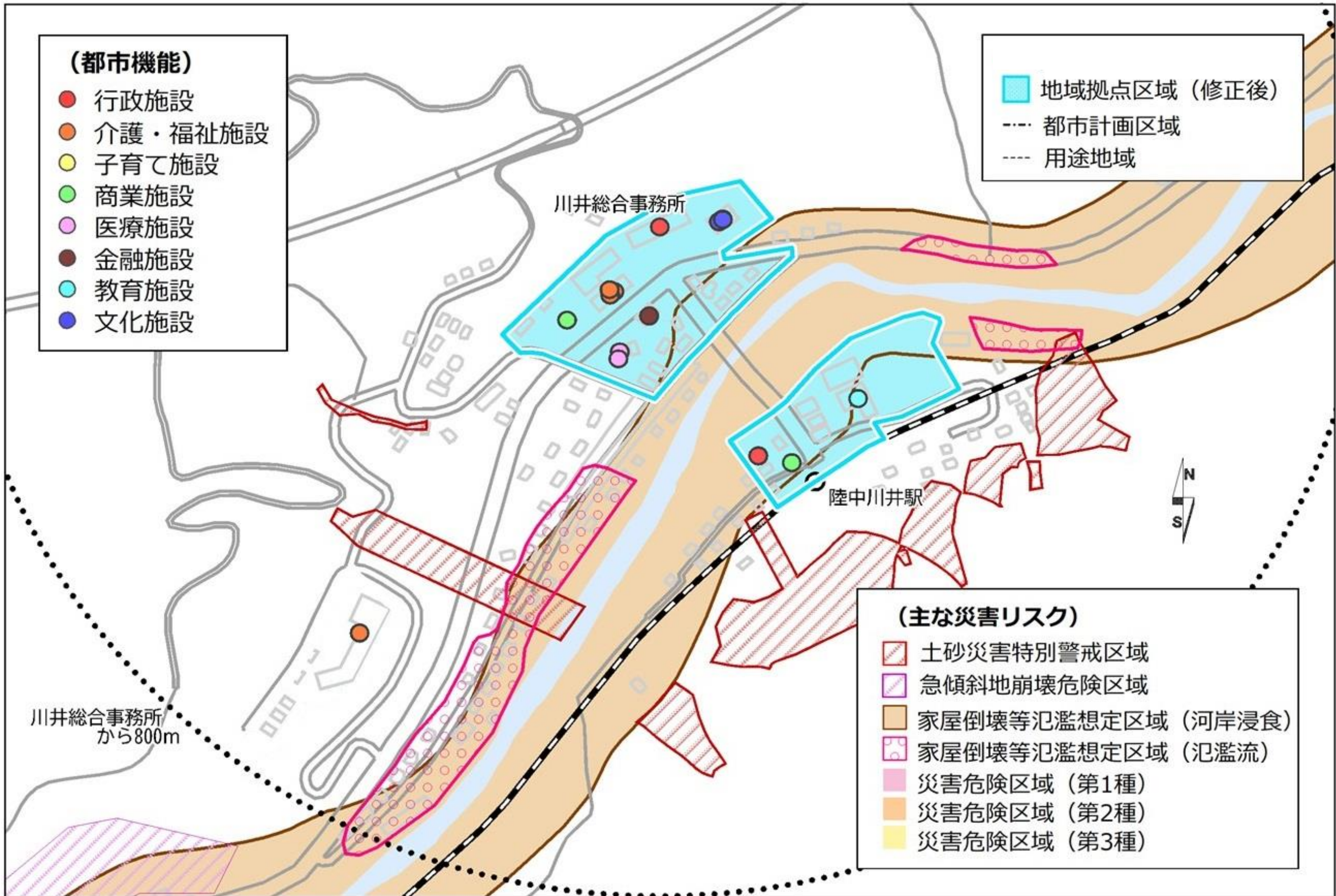


⇒ 区域変更なし

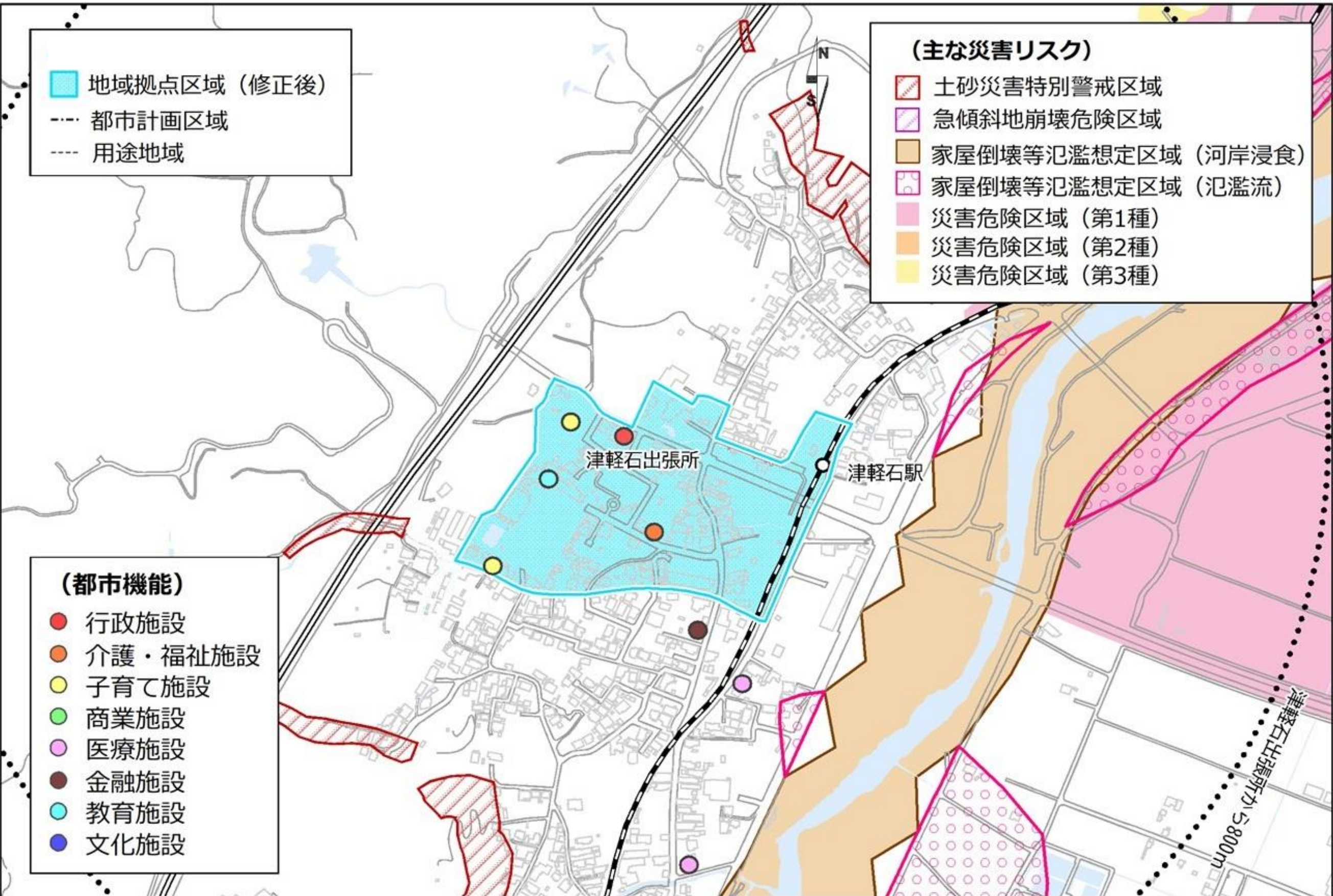
重点的に取り組んでいく区域について (7/22) ③地域拠点区域 [新里地区]



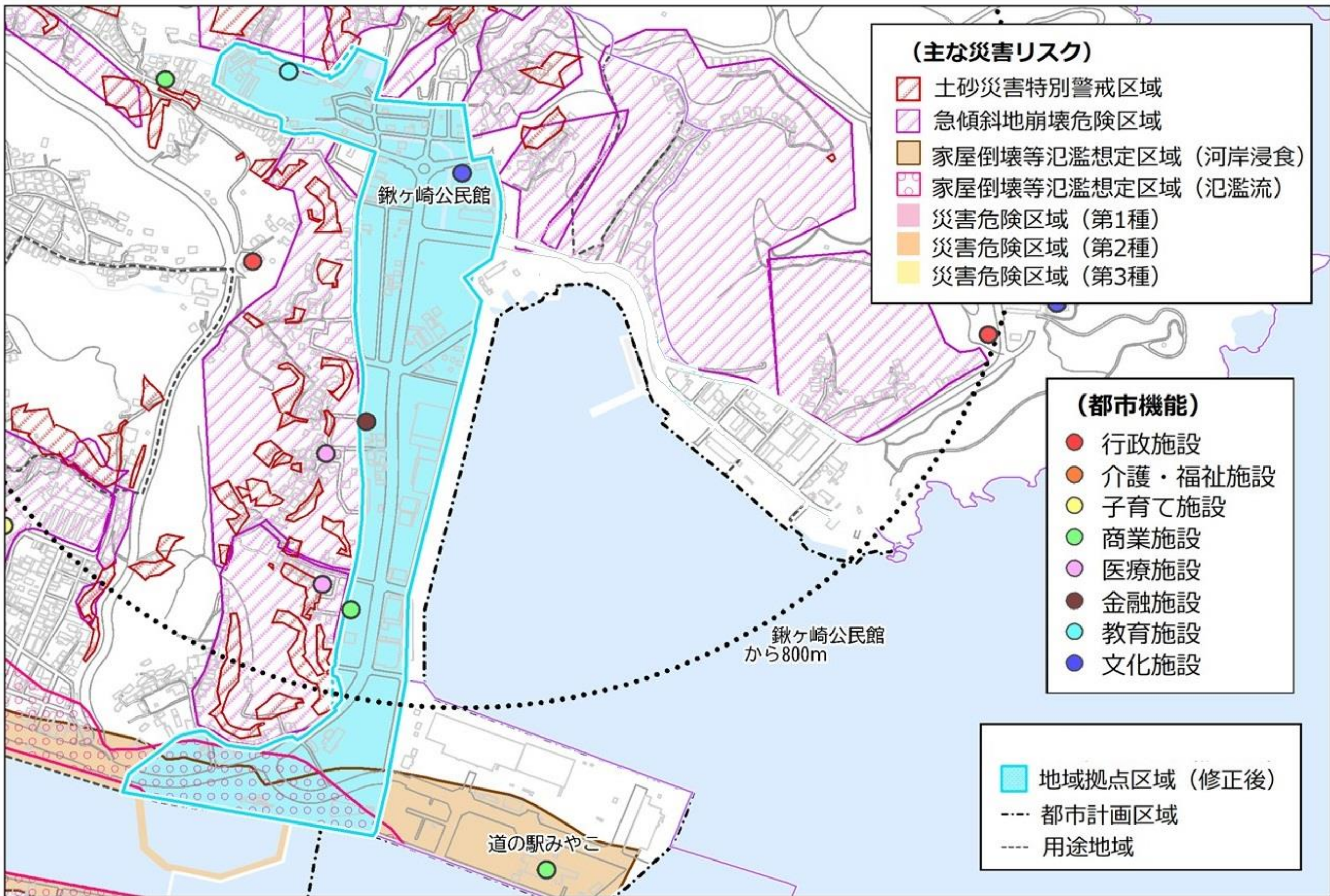
重点的に取り組んでいく区域について (8/22) ③地域拠点区域 [川井地区]



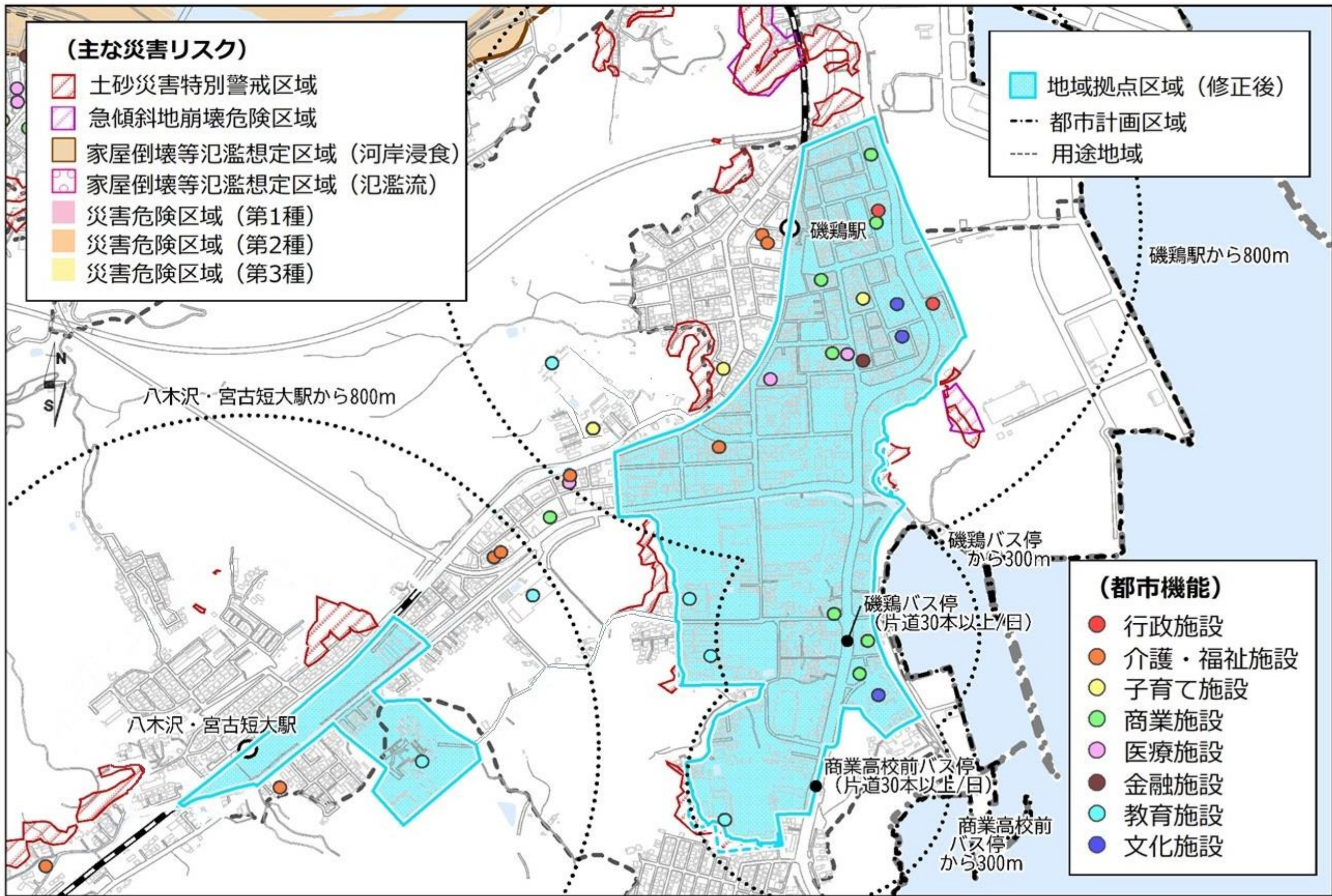
重点的に取り組んでいく区域について (9/22) ③地域拠点区域 [津軽石地区]



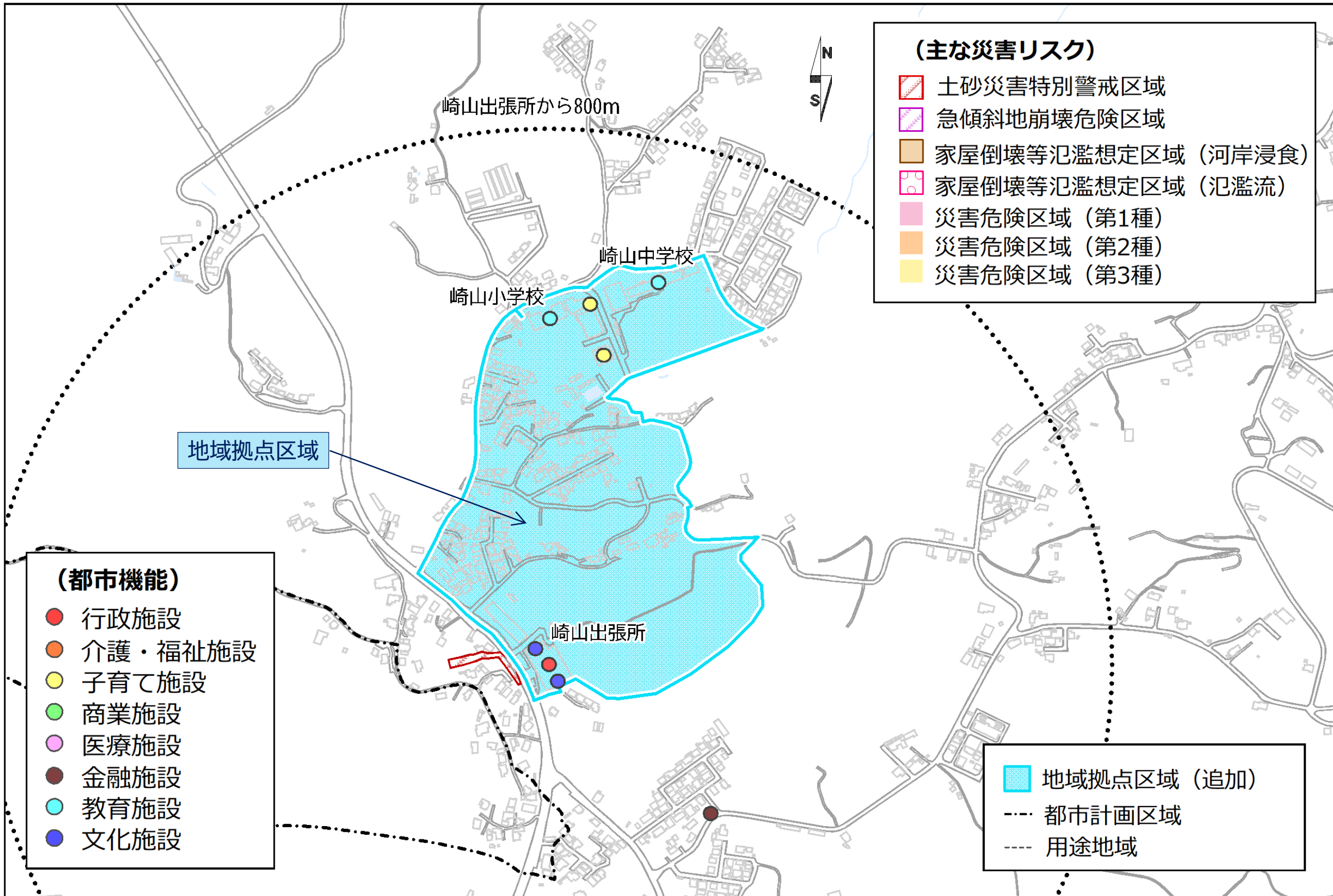
重点的に取り組んでいく区域について (10/22) ③地域拠点区域 [鋤ヶ崎地区]



重点的に取り組んでいく区域について (11/22) ③地域拠点区域 [磯鶏地区]

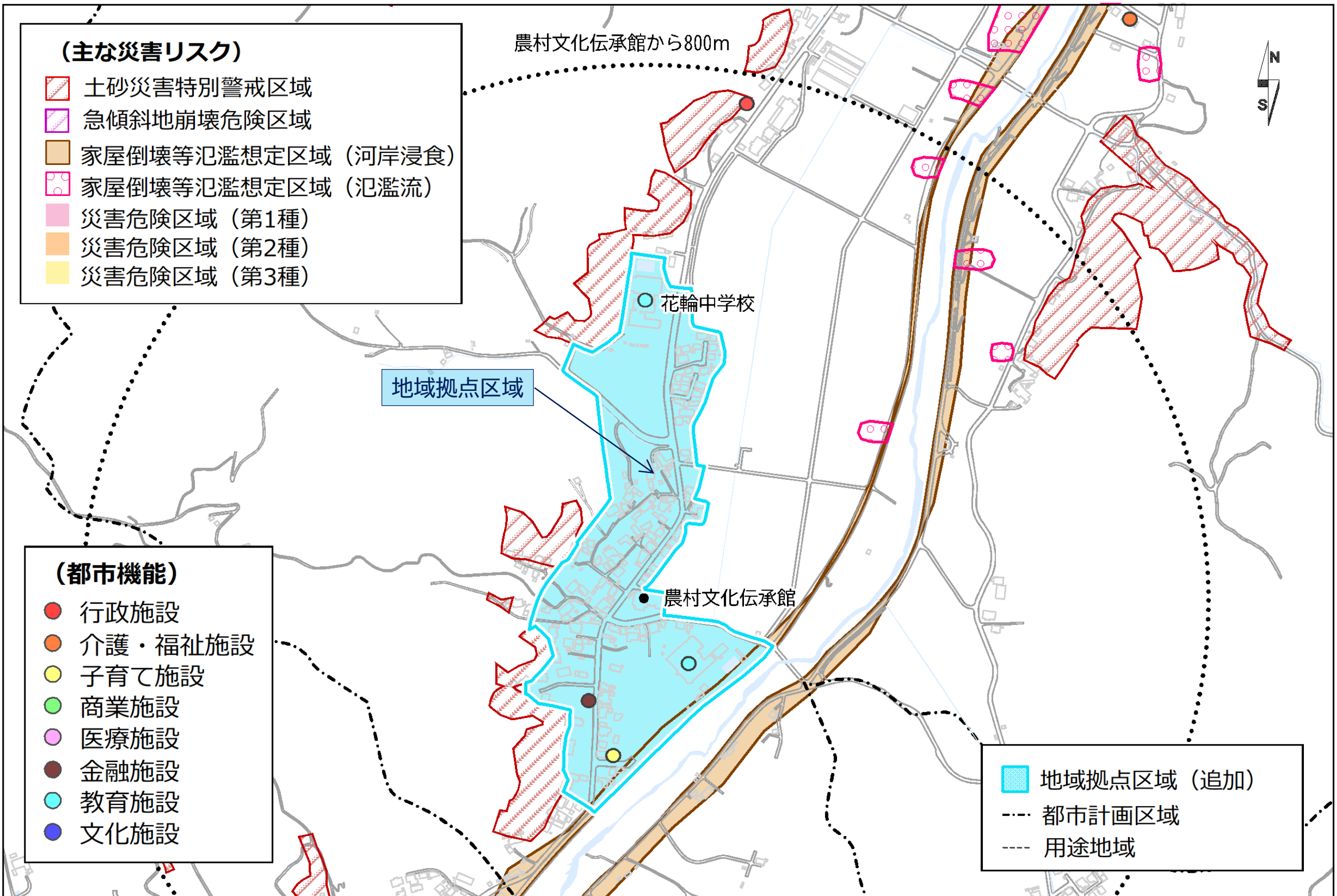


重点的に取り組んでいく区域について（12/22）③地域拠点区域に追加 [崎山地区]



⇒災害リスクを考慮しながら、地域の実情を勘案し設定した、地域拠点区域

重点的に取り組んでいく区域について (13/22) ③地域拠点区域に追加 [花輪地区]



⇒災害リスクを考慮しながら、地域の実情を勘案し設定した、地域拠点区域

重点的に取り組んでいく区域について (14/22) ④生活拠点区域

■ 生活拠点区域の設定基準(市独自区域設定)

○「生活拠点区域」は、人口減少が進行する中であっても、地域における生活利便性やコミュニティが持続的に確保されるよう居住を維持・誘導するエリアとして市が独自に設定するものです。

○エリアの設定は、都市再生特別措置法や都市計画運用指針に示されている都市機能誘導区域の考え方に参考に地域の特性を踏まえつつ設定するものとします。

○以下の設定基準で、地域拠点区域の該当箇所を抽出します。

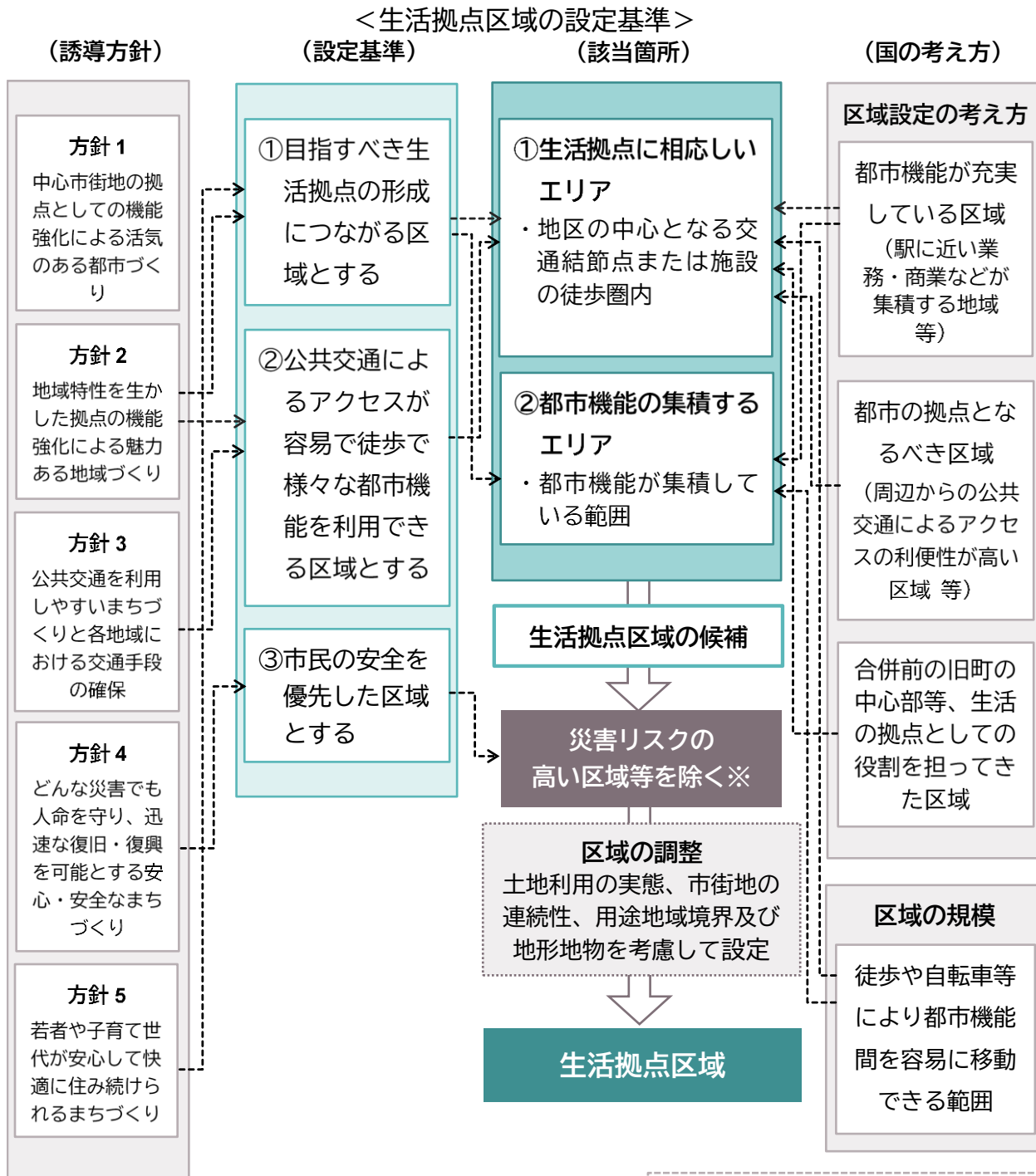
<設定基準(該当箇所)>

①生活拠点に相応しいエリア (STEP1)

- ・地域の中心となる交通結節点または施設の徒歩圏内(施設・鉄道：800m、バス停：300m)

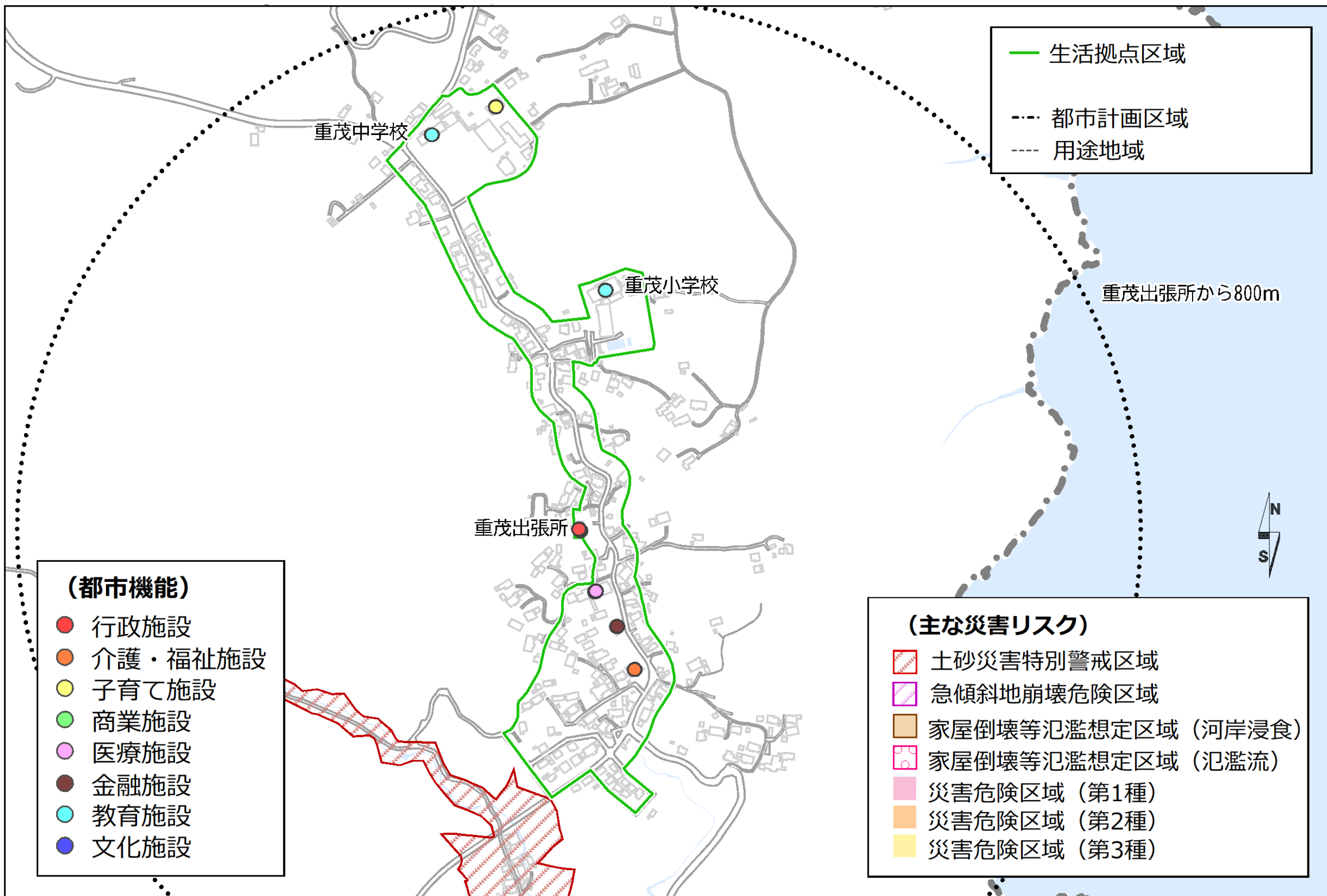
②都市機能の集積するエリア (STEP2)

- ・都市機能が集積している範囲



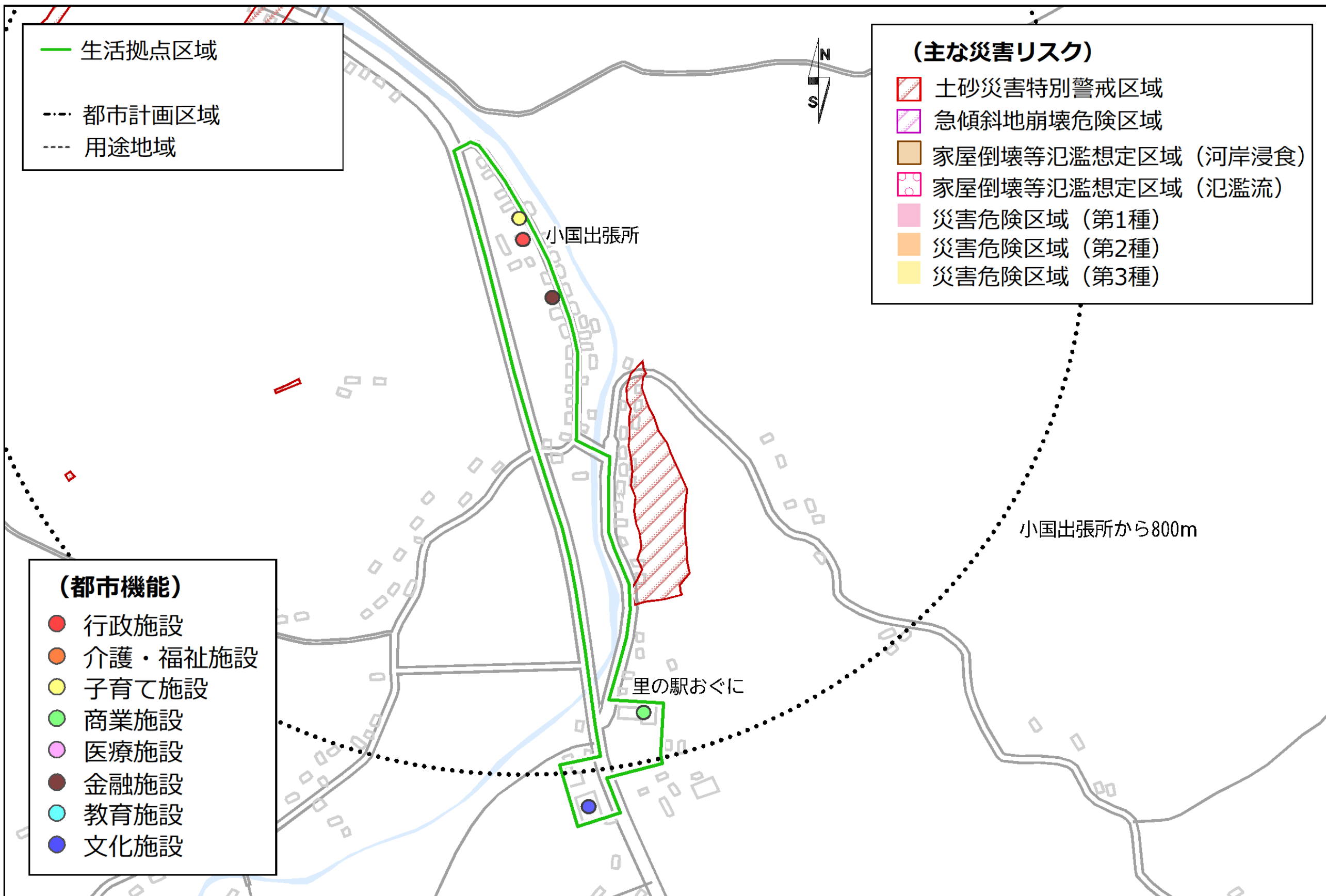
※災害リスクや警戒避難体制の整備状況等を勘案し、市民の安全を優先した上で区域に含めるかを判断する。

重点的に取り組んでいく区域について (15/22) ④生活拠点区域 [重茂地区]



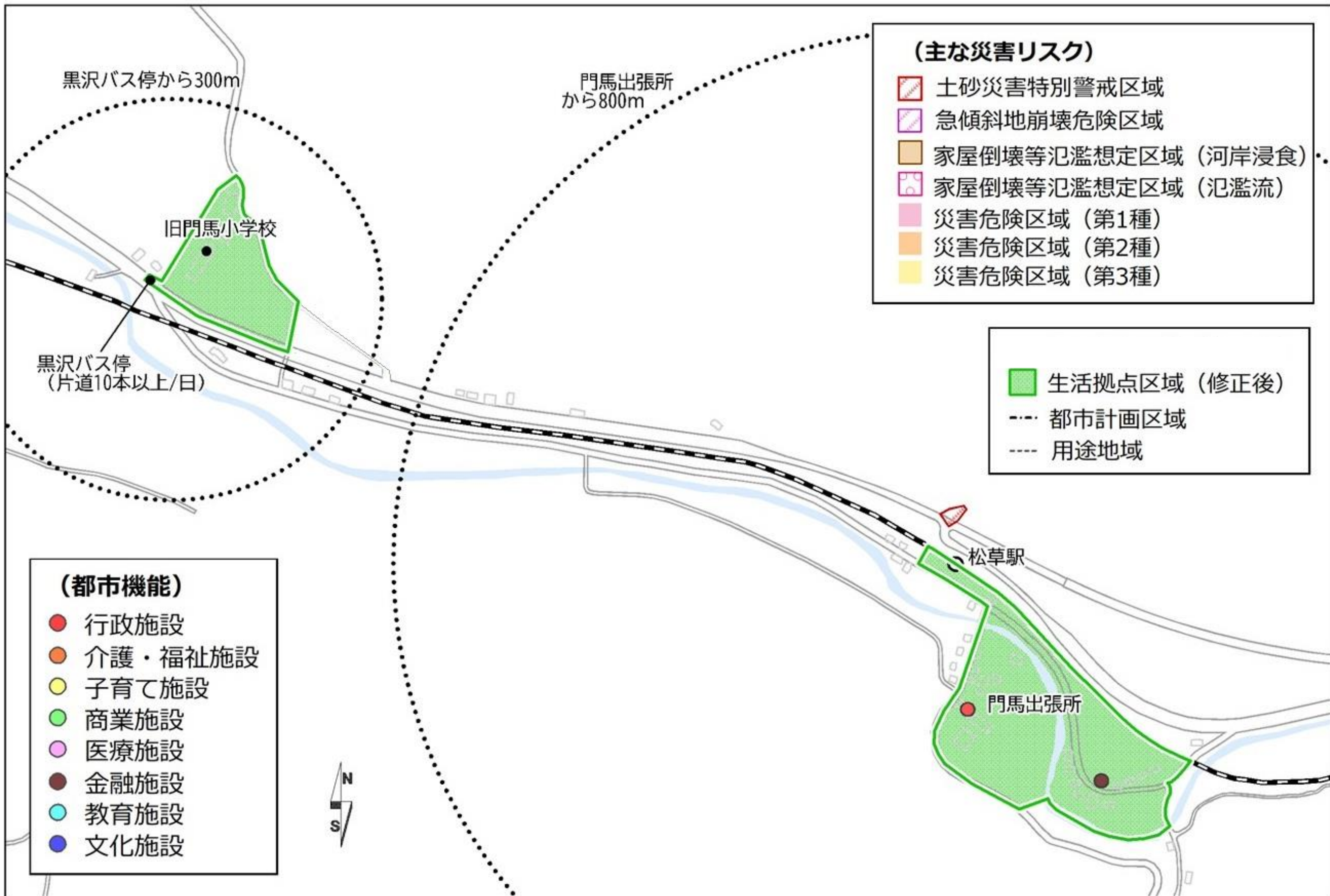
⇒区域変更なし

重点的に取り組んでいく区域について (16/22) ④生活拠点区域 [小国地区]



⇒区域変更なし

重点的に取り組んでいく区域について (17/22) ④生活拠点区域 [門馬地区]



⇒土地利用の実態、地形地物により区域除外

重点的に取り組んでいく区域について（18/22） ⑤観光・交流拠点区域

■ 観光・交流拠点区域の設定基準（市独自区域設定）

○「観光・交流拠点区域」は、「みなとまち」の特色を活かしたまちづくりの推進とともに、観光振興による賑わいの創出のため、市内外の来街者を対象に観光・交流の拠点とするエリアとして市が独自に設定するものです。

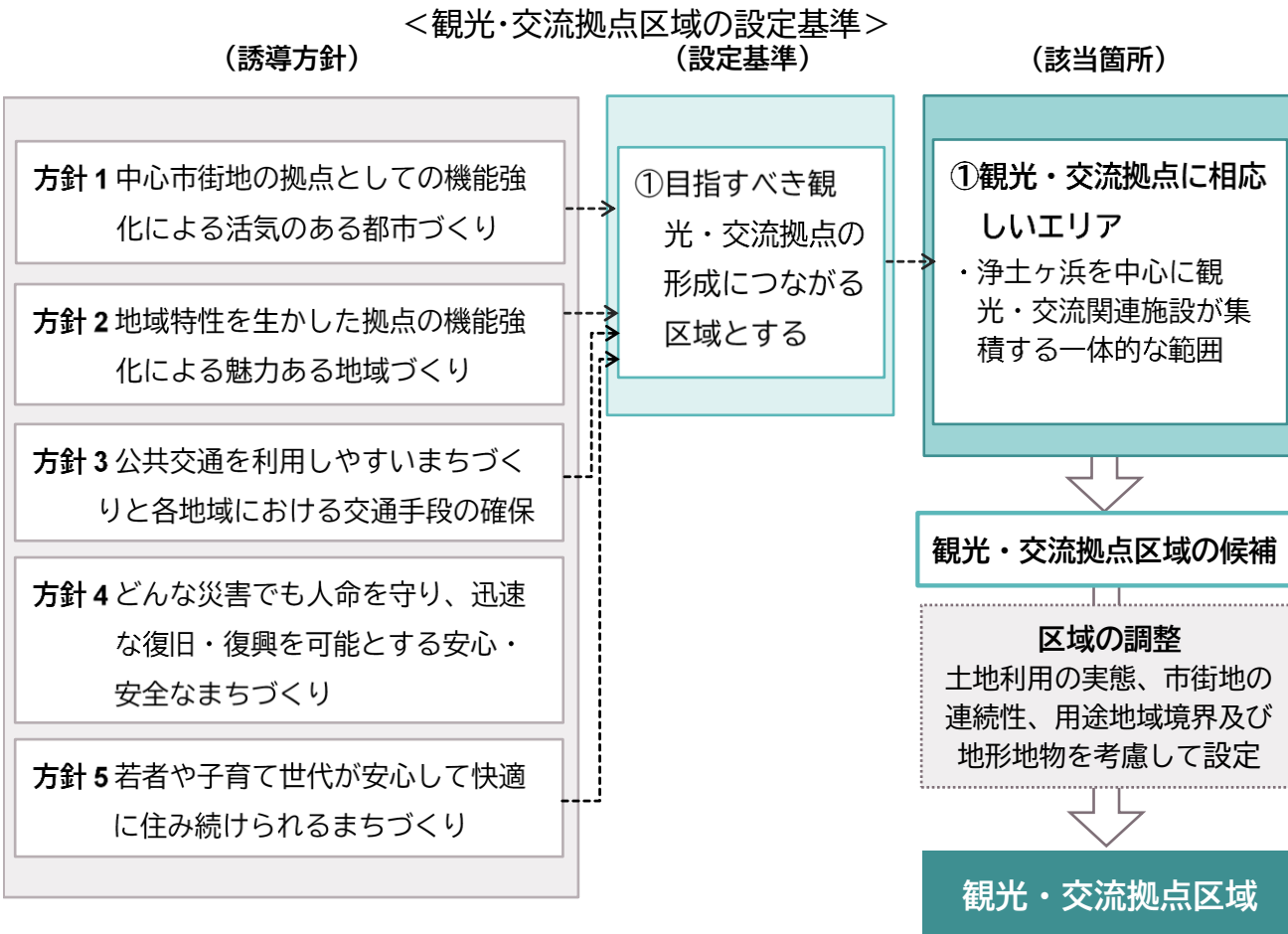
○エリアの設定は、浄土ヶ浜を中心に観光・交流関連施設が集積する一体的な範囲に設定します。

○以下の設定基準で、観光・交流拠点区域の該当箇所を抽出します。

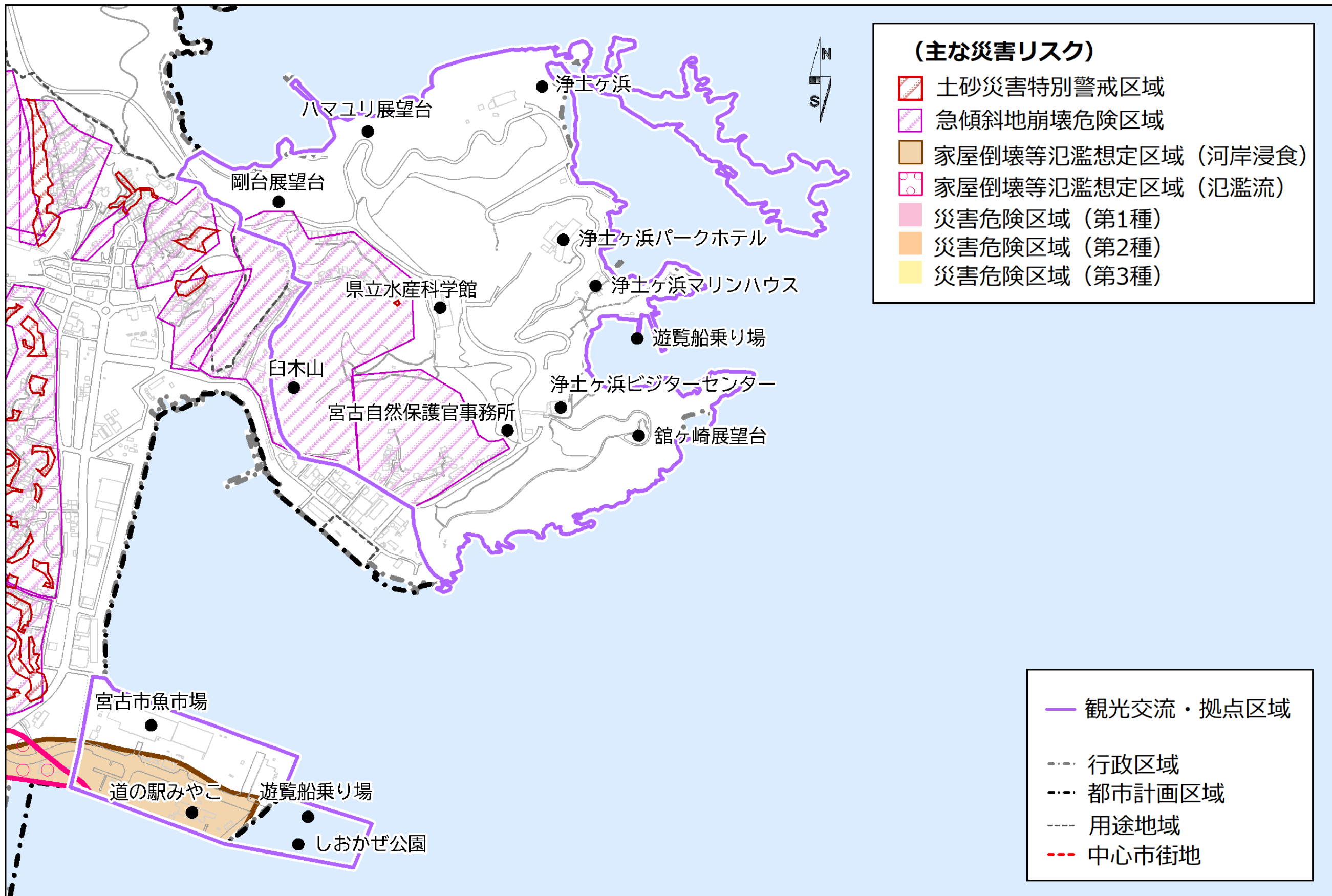
<観光・交流拠点区域の設定基準（該当箇所）>

①観光・交流拠点に相応しいエリア

・浄土ヶ浜を中心に観光・交流関連施設が集積する一体的な範囲



重点的に取り組んでいく区域について (19/22) ⑤観光・交流拠点区域



⇒区域変更なし

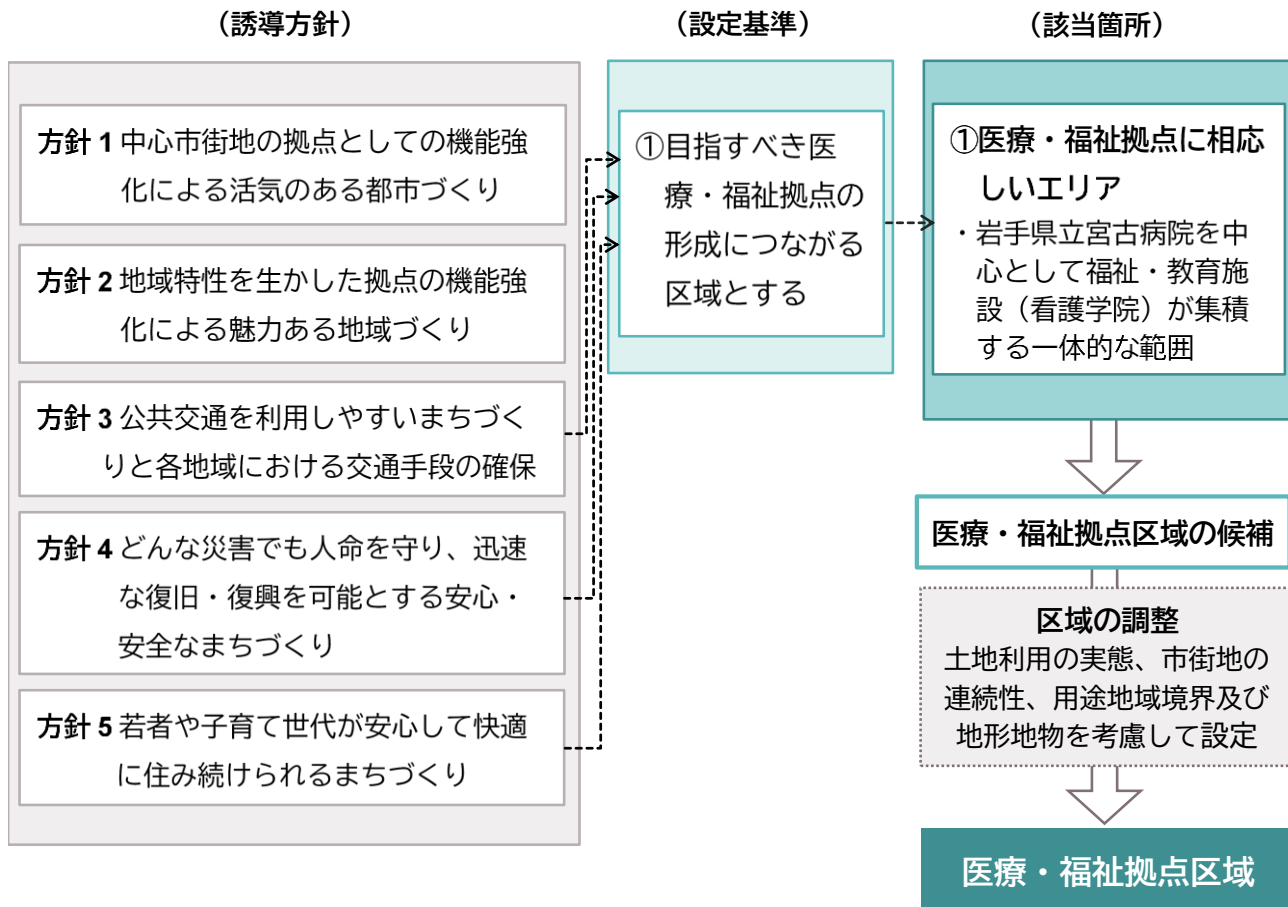
重点的に取り組んでいく区域について（20/22） ⑥医療・福祉拠点区域

■ 医療・福祉拠点区域の設定基準（市独自区域設定）

○「医療・福祉拠点区域」は、広域的な医療・福祉の拠点としての強化を図り、高齢化社会を支える地域医療の拠点形成を目指すエリアとして市が独自に設定するものです。

○エリアの設定は、岩手県立宮古病院を中心として福祉・教育施設（看護学院）が集積する一体的な範囲に設定します。

<医療・福祉拠点区域の設定基準>



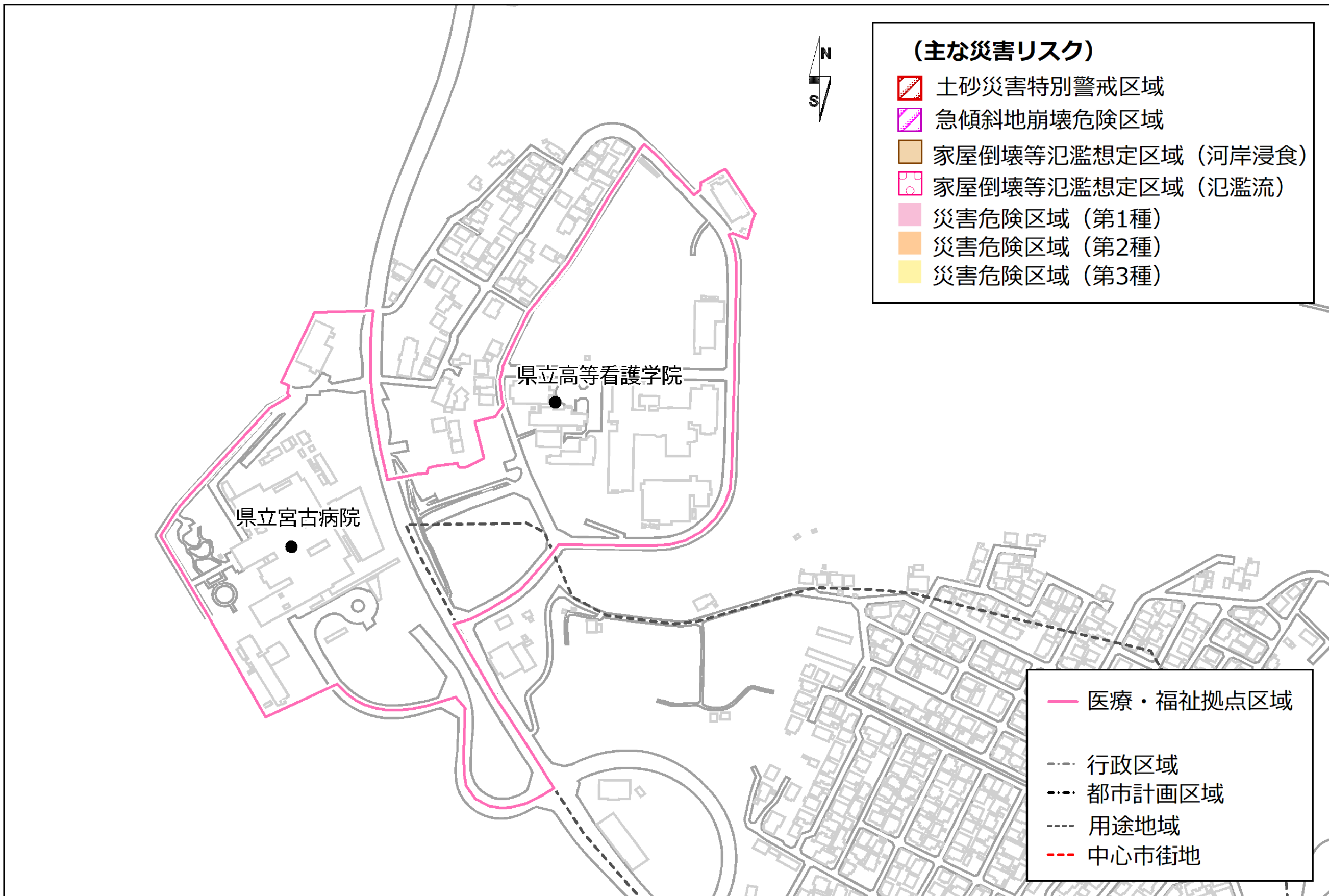
○以下の設定基準で、地域拠点区域の該当箇所を抽出します。

<医療・福祉拠点区域の設定基準（該当箇所）>

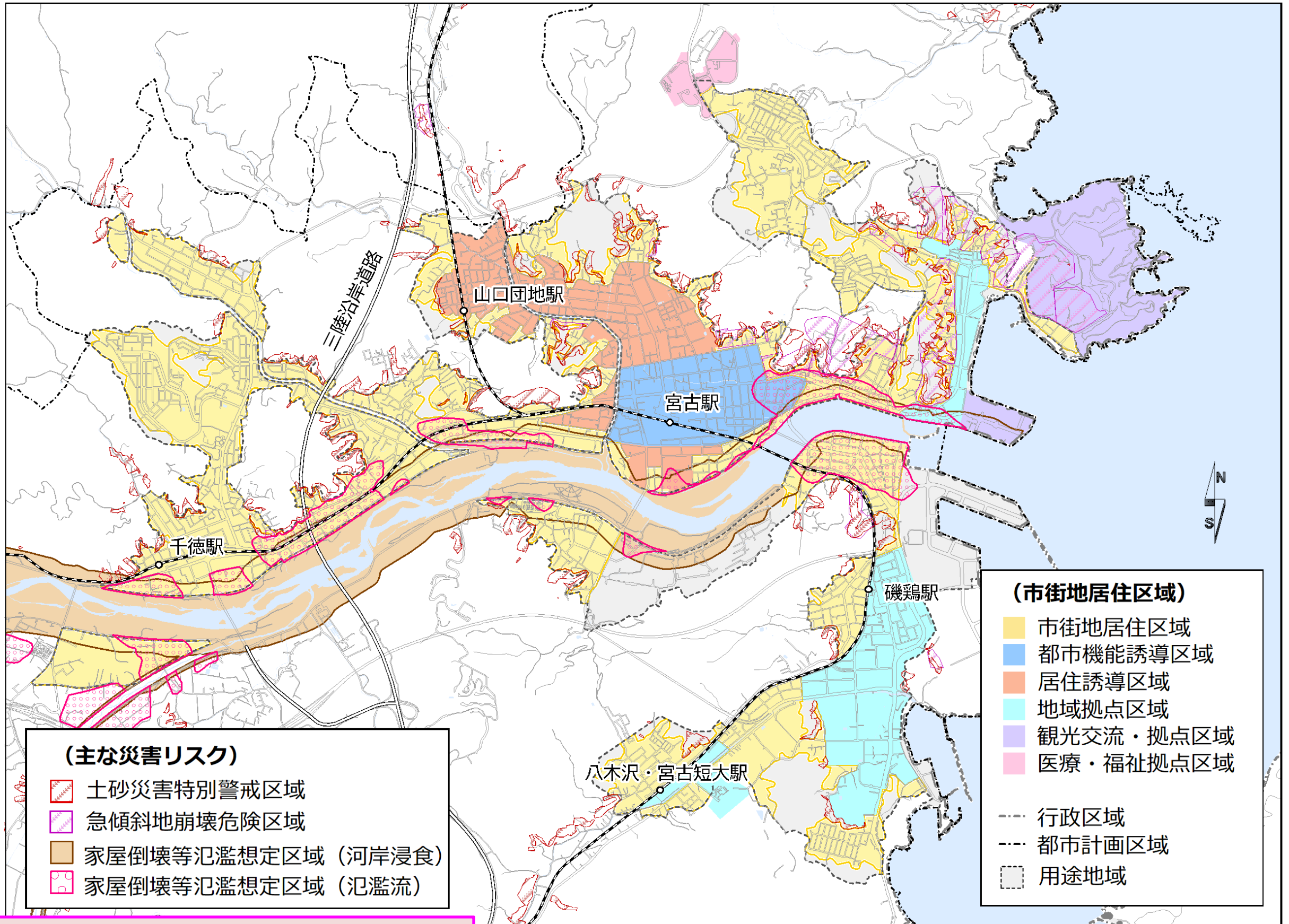
①医療・福祉拠点に相応しいエリア

・岩手県立宮古病院を中心として福祉・教育施設（看護学院）が集積する一体的な範囲

重点的に取り組んでいく区域について (21/22) ⑥医療・福祉拠点区域



⇒ 区域変更なし



対策済みの急傾斜地崩壊危険区域は区域に含めることとする